

### 平成 24 年度実績に関する監事の意見

平成 25 年 7 月 17 日

独立行政法人国立公文書館監事

佐藤 正紀

平成 24 年度の国立公文書館業務についての監査の書類と前監事からの引き継ぎから、国立公文書館の業務は大筋で適切に遂行されていると判断しておりますが、より効率的に業務を遂行するために、2 点気になる点があります。

一つは、公文書館の書庫が近い将来満杯になることです。平成 25 年度予算で筑波分館の増築が認められず、代わりに収蔵量を増加するための経費が認められておりますが、歴史的公文書の適切な保存及び利用を図るという公文書館の目的を遂行するためには、恒久的な書庫をどうするのか早急に方策を立てる必要があると思います。

二つ目は、公文書館の利用の促進です。公文書館に歴史的公文書が保存され一般の方々にも公開されているということを、もっと周知すべきであると思います。そのために、どういう工夫ができるのか検討する必要があると思います。